

令和4年度第3期高知県教育振興基本計画に関する取組(特別支援教育)の状況調査結果

高知県教育委員会  
(令和4年9月1日段階)

校種		公立小学校 公立義務教育 学校前期	公立中学校 公立義務教育 学校後期	公立高等学校
	実施対象校数	187校	98校	52校
設問1	全ての教室で、子どもが落ち着き、集中して学習や生活に臨むことができるよう、必要な提示(情報)を精査し、黒板内は授業に不要なものが貼られていないといった環境づくりを行っている。	186校 99.5%	97校 99.0%	47校 90.4%
設問2	全ての教室で、口頭による伝達だけでなく視覚化などの手立てがなされている。	183校 97.9%	98校 100.0%	49校 94.2%
設問3	全ての教室で、子どもがめあて達成へ向けて意欲的に学習することができるよう、動きのある活動を取り入れるなどメリハリのある授業づくりがなされている。	183校 97.9%	95校 96.9%	51校 98.1%
設問4	全ての教室で、学習への興味・関心を高め、学習内容の理解を促すことができるよう、見て分かる、聞いて分かる、体験して分かるなど、子どもの認知処理を生かした教材・教具を工夫している。	178校 95.2%	92校 93.9%	50校 96.2%
設問5	全ての教室で、子どもの自己有用感や自尊感情が高まるよう、具体的、視覚的など子どもに伝わる方法で、子ども自身が伸びを実感できる評価を工夫している。	180校 96.3%	95校 96.9%	47校 90.4%
設問6	学校経営計画において、校内支援会の日程、回数他に特別支援教育に関する取組を記載している。	170校 90.9%	86校 87.8%	49校 94.2%
個別 特別 指導 対象 児童 学級 画 通 成 を 除 に よ	必要と考える児童生徒が在籍している学校	170校 90.9%	72校 73.5%	22校 42.3%
	うち、作成している学校	164校 96.5%	66校 91.7%	19校 86.4%
	必要と考える児童生徒数	2,269人 7.6%	638人 4.8%	195人 1.7%
	うち、作成し、校内支援会や職員会議などで情報共有を行いながら、組織的に指導や支援を実施している児童生徒数	1,963人 86.5%	480人 75.2%	182人 93.3%
個別 特別 教育 支援 対象 児童 学級 画 通 成 を 除 に	必要と考える児童生徒が在籍している学校	94校 50.3%	49校 50.0%	20校 38.5%
	うち、作成している学校	76校 80.9%	32校 65.3%	13校 65.0%
	必要と考える児童生徒数	983人 3.3%	353人 2.7%	130人 1.1%
	うち、作成済みの児童生徒数	875人 89.0%	247人 70.0%	94人 72.3%
令和 3年 度 末 卒 業 生 の 引 き	令和3年度末卒業生で、個別の指導計画の作成を必要とされていた児童生徒が在籍していた学校数(特別支援学級、通級による指導対象児童生徒を含む)	150校 80.2%	72校 73.5%	12校 23.1%
	うち、『個別の教育支援計画』、『引き継ぎシート』等のツールを使い、情報を提供した学校数	140校 93.3%	60校 83.3%	6校 50.0%
	令和3年度末卒業生で、個別の指導計画の作成を必要とされていた児童生徒数(特別支援学級、通級による指導対象児童生徒を含む)	580人	297人	24人
	うち、『個別の教育支援計画』、『引き継ぎシート』等のツールを使い、情報を提供した児童生徒数	448人 77.2%	224人 75.4%	10人 41.7%
令和 4年 度 入 学 生 へ の 引 き	令和4年度入学生について、個別の指導計画の作成が必要な児童生徒が在籍している学校数(特別支援学級、通級による指導対象児童生徒を含む)	139校 74.3%	79校 80.6%	21校 40.4%
	うち、『個別の教育支援計画』、『引き継ぎシート』等のツールを使い、情報を受け取った学校数	118校 84.9%	72校 91.1%	19校 90.5%
	令和4年度入学生について、個別の指導計画の作成が必要な児童生徒数(特別支援学級、通級による指導対象児童生徒を含む)	528人	384人	104人
	うち、『個別の教育支援計画』、『引き継ぎシート』等のツールを使い、情報を受け取った児童生徒数	367人 69.5%	304人 79.2%	48人 46.2%

※本調査の対象となった児童生徒数 小:29,906人、中:13,198人、高:11,740人